



翔鷹

アブダビ日本人学校 学校だより

令和4年度

6月号

R4. 6.1 発行

編集：教頭

大和心(大和魂)

教頭 佐藤 康二

表題の言葉にどんなイメージをもつだろうか。愛国精神？それとも武士道？はたまた？？、。いやいや、全く違うのである。

大和心も大和魂もほぼ同じ意味で、「素直な心」とか「誠実な人柄」を意味する単語。古くは平安時代にさかのぼる。主に貴族女性が創った美しい日本語である。紫式部の源氏物語に初めて出てくる言葉だが、私の好みで同時代の後拾遺和歌集の赤染衛門あかそめえもんの歌を紹介する。

大江匡衡おおえのまさひら（文章博士）と赤染衛門あかそめえもん（女流歌人）は貴族の間で評判の仲睦まじいおしどり夫婦。そんなラブラブの二人が1度だけ夫婦喧嘩をしたというエピソードである。

赤染衛門が子どもを産んだので、乳母を雇ったのだが、その乳母があまり乳が出なかった。そこで、夫の大江匡衡は次の歌を詠んだ。

はかなくも 思ひけるかなちもなくて 博士の家の乳母（めのと）せむとは

まったくムダなことをしたものだ。ち（乳と知を掛ける）もろくにないくせに博士の家の乳母に採用してしまったとは。ああ、無能な職員を雇って失敗したなあ。

この歌へ妻、赤染衛門の返歌が小気味よい。

さもあらばあれ 大和心し賢くば 細乳(ほそぢ)につけてあらずばかりぞ

何言ってるのよあなた！あの乳母はとても大和心(素直な心、誠実な人柄)のある人よ。細乳ほそぢ(能力の有無)なんて関係ないじゃないの！

さらに赤染衛門は嘆く。「私の夫をはじめ、高学歴で仕事ができ優秀有能を競い合う男たちは、なぜこんなおバカなのかしら！人を成績や能力、見た目で判断する。大和心(素直な心、誠実な人柄)さえあればいつの時代だって、どんな世の中だって人は立派に生きていけるのに、。。」細乳(ほそぢ)乳の出ない乳母はこうしてクビを免れ、良妻賢母の赤染衛門をよく助けた。そして上流貴族社会の期待以上に、子どもを立派に育て上げた。きっと仲良し夫婦の諍いさかい、まじめな人柄の大江匡衡の方から素直に「ゴメンね。」と謝り、細乳ほそぢの乳母にも優しい言葉で、子どもへの教育の労をねぎらったことであろう。極めつけは百人一首にある彼女の歌。

やすらはで 寝なましものを さ夜ふけて 傾(かたぶ)くまでの 月を見しかな

待つことしかできぬ女性の哀歌だ。しかし、私には妻子家庭を犠牲に競争社会に生きねばならぬ人々への「働き方改革・教育改革」の歌にも聞こえるのだが、。。

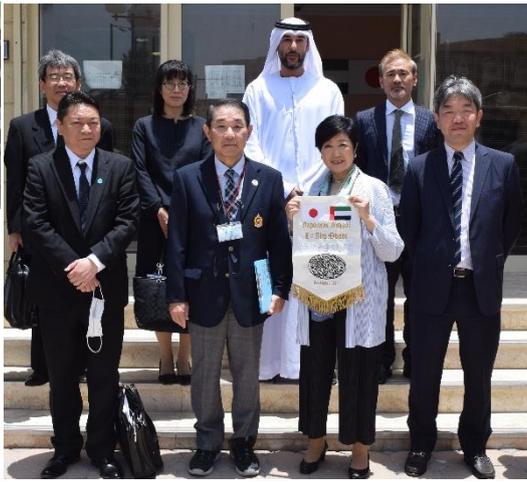
仲良し夫婦で家庭円満そして大和心し賢くば、いつの時代でもどこの国でも子どもは立派に成長するということだろう。



【 6月 June 】		主な行事 (授業日数22)
日	曜	
1	水	
2	木	
3	金	
4	土	
5	日	第1回英語検定
6	月	
7	火	避難訓練
8	水	
9	木	
10	金	
11	土	
12	日	
13	月	
14	火	内科歯科検診
15	水	
16	木	
17	金	
18	土	
19	日	第1回漢字検定
20	月	
21	火	委員会活動
22	水	
23	木	
24	金	
25	土	
26	日	
27	月	
28	火	
29	水	
30	木	中学部期末テスト



**小池 百合子
東京都知事が来校！**
5月17日(火)、小池百合子東京都知事が本校を訪問され授業の様子を参観されました。幼稚園から小中学部の各教室を参観され、アラビア語教室では、ファラグ先生とカイロ大学の同窓生であることがわかりました。
→



<第1回エミラティ集会>
5月10日(火)に第1回エミラティ集会を行いました。G9生徒による開会の言葉に始まり、漢字検定の表彰や、先生方・G1児童による自己紹介、ADEKの先生による日本語とアラビア語学習の大切さや取り組み方についてのお話を聞きました。会の最後に、G9生徒の「エミラティ、がんばるぞ」の掛け声の後に、エミラティ児童生徒全員が声を合わせて「おー」と反応。一体感が感じられました。↓



<アブダビブックフェア 2022> ↑
5月24日(火)、中学部G7～9の生徒はアブダビエキシビジョンセンターで開催の「国際図書展示会」へ見学に行ってきました。世界各国の図書展示、読書への興味関心が高まりました。
<3年ぶりの全校集合写真> →
5月18日(水)、3年ぶりに全校児童生徒教職員の集合写真を撮りました。コロナ禍以前は毎年こうして撮影していました。

